

「鎌倉市こども計画（素案）」に対する青少年問題協議会(R6.12.13)委員からの意見

全体について

- 「こども」という言葉から連想されるイメージがどうしても幼い子供を連想してしまう。計画は若者まで含んでいると思うので、若者まで広げるイメージをサブタイトルはじめ、計画全体で見せられるとよい
- 仲間、地域社会と共に生き育つ、「守られる（支援される）側」から「守る（支援する）側」へ成長していくというイメージをサブタイトルや前文などでも表現できるとよい
- こども計画は、こどもや若者の未来に向けた支援の計画だと思う。例えば学校教育の部分では、現在、探究的・主体的な授業、インクルーシブ教育などを懸命に進めており、そのようにして児童生徒を育み、成長したこども若者が社会に出ていくわけですが、出ていった先の社会が一体それにマッチングする社会なのか、成長したこども若者を、受け入れる社会も変わっていきましょう、というメッセージを伝えられるとよい
- 様々な課題にあたった場合は、こども若者にとってどうなのか、こども若者がどう感じるのかという視点が入ると、施策の方向性がはっきりしてくるのかと思う。
- 計画としてまとめる際には、色々な意見を入れながらまとめる作業になると思うが、年齢や事業などによる縦割りではなくトータルで計画全体を見するというステップを踏んでほしい。

第2章について

- 不登校児童生徒の増加が課題とされているが、一方で見方によっては様々な学び方というのが社会的にも浸透してきているのではないかな。
- ヤングケアラーという言葉を知っているこどもが多いことから、こども自身の社会課題の考え方というのにも浸透してきているのかなと感じた。

第3章について

（3 計画の目標）

- 計画の目標部分に、地域や自然環境と共に生きるという視点を入れると鎌倉らしさが出てよいと思う。

（4 計画の体系）

- 体系は P59 の文章だけでは理解しづらい。（素案では丁度ページの表裏をあわせてみなければならぬため）P59 の文章と P60 の表とあわせて見られる（読める）ページの工夫があるとよい

第4章について

（1 ライフステージに共通した取組を推進します）

主要施策（1）こども・若者の権利と主体性・多様性の尊重及び意見の反映

- わかたま交換ノートに見られるように、こども若者が自由に意見や思いを出せることはいい取組みであり続けてほしい。一方で、自由に意見を言える機会や場がだれかの誹謗中傷やいじめの温床とならないよう、人材の配置など大人の目が入ることも大事にしてほしい。

主要施策（２）多様な遊びや体験及び交流の機会づくり

○青少年指導員の事業について計画に含めてほしい

○古都鎌倉の伝統の体験の機会は計画の売りにしてほしい 鎌倉の環境を生かして鎌倉の文化的な特徴に触れられることを是非進めてほしい

○体験や交流の機会に参加したことも若者が成長し、地域の活動に興味を持ち下の年代の体験や交流の機会のサポートにまわる事例を見てきた。体験や交流の機会が将来の社会の担い手を育てるということをより表現してほしい。

○こども若者にとって体験は非常に重要。体験を保障するためには学校と家庭と地域が連携していくことが重要と思う。

主要施策（３）こどもまんなかの居場所づくり

○悩みを抱えた児童生徒は多く、学校ではスクールカウンセラーが児童生徒の相談対応をしているが、こども若者の悩みが深刻化する前の（スクールカウンセラーが関わる前に）悩みに寄り添える居場所が大切である

主要施策（７）児童虐待防止対策の推進及びヤングケアラーへの支援

○相談体制の人材配置、警察との連携についても引き続き推進してほしい

（２ ライフステージ別取組を推進します）

学童期・思春期

主要施策（１）資質・能力の育成に向けた学校教育の充実

○男女問わず育児休業を取得することが進んでおり、良い方向だと思う。一方で育休取得の代替職員が見つからないなど課題があり、教員の配置などなり手不足など課題があり、環境整備は基本のベース部分として大事で考えていかななくてはいけないと考える。

青年期

○COCORU かまぐら（注）の学生サポーターのような活動などボランティアやインターンなど社会参画を通じて将来の地域の担い手を育てていくという施策は必要だと思う。

○大学生も成長のポテンシャルが大きくあるので、支援する側というだけでなく、支援のされる側の対象として、大学生の思いや心の揺れを支援してほしい。

（３ 子育て当事者への支援の取組みを推進します）

主要施策（４）子育てと仕事の両立支援の仕組みづくり

○父親の育児休業の取得率が増加してきているが、勤務先の人員体制の事情で思うように取得できなかったりもしている。鎌倉市だけの問題ではないが、育児休業取得を推奨する一方で環境がそれに対応しきれていないことは社会課題と思う。